

天使病院を受診された患者のみな様へ

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんのでお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

研究課題名	成人の鼠径ヘルニア(L1型)に対する腹腔鏡下経皮的腹膜外ヘルニア閉鎖術の有用性についての後方視的観察研究
研究の対象	2012年12月1日から2021年12月31日までに天使病院において、鼠径ヘルニアと診断され、手術を受けた16歳以上の患者
研究目的・方法	小児の鼠径ヘルニアに対して腹腔鏡下経皮的腹膜外ヘルニア閉鎖術(LPEC)が広く普及している。また、鼠径管の脆弱性を認めない成人のL1型鼠径ヘルニアは小児と病態が同様であると考えられ、成人にも適応拡大する施設が散見される。天使病院では患者の同意を得た上で、成人のL1型鼠径ヘルニアにLPECを施行しており、その有用性を報告してきた。これまでの症例について後方視的に研究を行い、その安全性・有効性を報告し、手術適応の拡大と適切な症例の選択を行うことを目的とする。
研究期間	2022年4月1日～2026年12月31日
研究に用いる試料・情報の種類	①患者背景：年齢、性別、手術側、術前併存症、生活歴、職業歴 ②手術時間、術中偶発症、術後在院日数 ③術後合併症、 上記項目につき、再発率や再発様式などのキーファクターをもとにサブグループ解析をおこなう。
外部への試料・情報の提供	調査により得られたデータを取り扱う際には、被験者の秘密保護に十分に配慮する。特定の個人を識別することができないよう、対象患者に符号もしくは番号を付与する。対応表は自施設内で厳重に管理し、自施設外に個人情報の持ち出しは行わない(連結可能匿名化)。
外部からの試料・情報の提供	なし
研究組織	天使病院 外科・小児外科 吉田祐一（本研究責任者） 天使病院 外科・小児外科 坂本聡大 天使病院 外科・小児外科 湊雅嗣 天使病院 外科・小児外科 大場豪 天使病院 外科・小児外科 中山雅人 天使病院 外科・小児外科 山本浩史
問合せ先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先	〒065-8611 北海道札幌市東区北12条東3丁目1-1 社会医療法人 母恋 天使病院 外科・小児外科 吉田祐一 TEL：011-711-0101(代表) FAX：011-751-1708 E-mail:kikakukanri@tenshi.or.jp